

考え方と、近年の状況は

経営支援の減免是とする



みやがわ のりみつ 議員 宮川 徳光

問 町内の指定管理者制度導入施設の使用料について、その考え方と、近年の状況は。

答 大西町長

利用料は、貸出し時に設定している。減免を適用される事業所は、おしなべて役員手当等々が圧縮され、ほぼすべてが被雇用者の給与還元となっている。これにより、地域内の消費志向を高めてその乗数効果で域内の経済を潤すというのが産業施策の大きな柱で、規定に基づく経営支

施設使用料の状況 【単位：万円】

年度	該当施設数	納付施設数	使用料総額	減免施設数	減免額計	減免後合計
H23	16	3	464	2	142	322
H24	17	5	608	4	258	350
H25	18	5	608	5	272	336
H26	19	6	969	5	453	516
H27	19	6	1007	5	491	516

援としての減免適用は是としている。今後も経営改善に向けた環境整備を積極的に行う。

答 門田産業推進室長
近年の使用料状況は、左図のとおり。

森林資源活用

「薪」事業を突破口に
支援し、更なる
林業振興を

問 この9月、幡東森林組合の「黒潮薪本舗」が薪（まき・広葉樹）の買取りを始めた。当事業には、森林率が高い当町にとり取り組むべき課題が多いと考えるが、考えを伺う。

答 尾崎海洋森林課長

近年、県内では木質バイオマス発電所や大型製材所、CLT工法建築など、木材需要が増す中、当町は林業振興の環境がありながら、その効果を見出せない状況だ。要因として、長期の木材価格の低迷、大規模林家が少ないなどで後継者不足の現状にある。

この状況の突破口の1つとして、町内では幡東森林組合と民間事業者が協働して、「黒潮薪本舗」を立ち上げ、薪による木質バイオマス資源活用事業を展開している。



町内でも増え始めている「薪ストーブ」

町は、ふるさと納税も活用し黒潮町の魅力を発信する本事業を支援すると共に、更なる林業振興に取り組んでいく。

答 大西町長

変更後の内容の一部を議決前に施行出来るのか。

契約工事負請

議決案件内容
議決前施工は
法的瑕疵は
一切ない

問 設計変更により議決案件となった請負工事について、

この案件は7月の臨時議会で議決しているの、完全な法的な有効性を持つし、町長が裁量権を有する5千万円以下、つまり議決を要しない契約の内容の変更についてもすべて法律の枠組みの中の運用となっており、法律的な瑕疵（かし）は一切ない。